

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	さくら並木をいつまでも元気にする管理事業
事業主体 (連絡先)	龍江天龍峡桜街道さくら並木愛護会 事務局 大原 敏 電話0265-27-3151 / 090-6930-4673
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,568,000 円

事業内容

桜並木は堤防道路に、平成10年に200本の八重桜を植栽地区民と協働で管理を行っている。開花時期には地区民全体で祭りを開催して楽しむ憩いの場所として又、多くの観光客が訪れる名勝地となるべく取り組んでいる。植栽22年が経ち弱体した木もあり、歯抜け状態が起き始めた。先進地研修を行い、管理方法を学び弱体した木の蘇生、その他については、本格的に手を入れて維持管理対策を行い弱体化防止に努め、八重桜のまちづくりに取り組み、住民の心の潤いと、景観地としての魅力を高める。



【会員による枯枝除去作業】

【目標・ねらい】

- ① さくら祭り拡大
(年毎に段階を踏んだ)
- ② 八重桜の健全化
(年間計画の実践)
- ③ 八重桜並木の名勝地を作り
集客を図る。

事業効果

1. 第13回さくら祭り(‘19、4、21)の成果
 - ①祭りイベント数 (‘18) (‘19)
 - ア、文化の競演 20団体 ⇒ 22団体
 - イ、スポーツの競演 4団体 ⇒ 4団体
 - ②出店 10店舗 ⇒ 40店舗
 - ③祭り参加来客数 3,200人 ⇒ 4,000人
2. 開花期間中に観光バス来訪 前年比 約15%増
(南信州観光公社情報)
3. 八重桜の年間管理維持計画が確立できた。又、苗の育成方法が判り、実行の目途を得た。

※自己評価【A】

【理由】

1. 先進地研修で桜管理技術を学び、大きな成果が得られた。
2. 祭りの成果は、ほぼ計画通りであった。

今後の取り組み

1. さくら祭りの企画拡大化
 - ① 出店数増で集客を図る。
 - ② 八重桜の景観地として、国内から、世界から訪れて貰えるよう、PRを多くの報道機関に働きかける。
 - ③ シャルルヴィル・メジエール市(仏)との訪問交流 第2回目を3~4年後に実行し、国際親善に尽くす。
(龍江地域づくり委員会、今田人形保存会、龍江小学校、天龍土地管理組合と協働)